

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	50
		決裁期日	平成 31 年 4 月 26 日
名 称	住民会長との町政懇談会		
日 時	平成 31 年 4 月 19 日(金) 13 時 00 分～15 時 25 分		
場 所	消防 2 階大会議室		
出席者	住民会長22名（別紙） 理事者：向山町長・石田副町長・服部教育長 課長職：林会計課長他11名（別紙） 町民生活課自治推進班：床鍋主幹、大井主事 傍聴者：1名		
内 容	<p>司会：石田副町長</p> <p>○町政懇談会の前に新規採用職員（4名）紹介</p> <p>○向山町長挨拶</p> <p>住民会長においては公私ともにご多用のところ、平成 31 年度初の懇談会へご出席いただきお礼を申し上げるとともに、日ごろから町政運営推進の確保にご協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。4月から新規で住民会長へ就任された皆様についても引き続きよろしくお願ひしたい。</p> <p>町においては4月より平成 31 年度がスタートしたが、地方財政が厳しさを増してくるなかで、予算についても近年にない減額予算でスタートせざるを得ない状況となり、一般会計、特別会計、企業会計を合わせて 108 億円強という予算編成とさせていただいた。限られた予算ではあるが、町民の皆さんへのサービス向上に最善を尽くしていきたい。</p> <p>今年は第 6 次総合計画のスタート年であるが、今、地方が疲弊しており、高齢化と人口減少が進んでいるいびつな社会構造となっているなかで、町としては先ほどご説明した予算をもって、町民の皆さんに最大限の行政サービスを提供させていただくとともに、さらに安心・安全を確保したうえで、町の活気を確実に感じていただけるような総合計画に基づいた事業も進めさせていただきたい。</p> <p>そういったことに対し、町民の皆さんの声をしっかりと行政運営に反映させていかなければ、効果のある事業運営はできないため、住民会長の皆さんには日ごろの住民会活動を通じて、町に対し率直なご意見をお寄せいただきたい。そういった協力関係を確保しながら、協働のまちづくりに沿った新しいかみふらのづくりの元年にしたいと思っている。</p> <p>来月から「令和」という新しい元号がスタートする。上富良野町もそれにふさわしい一年となるように精一杯取り組んでいくため、皆さんの引き</p>		

続きのご支援をよろしくお願い申しあげる。

【議事】

議題1 平成31年度予算及び仕事の概要について（総務課）

説明者：総務課長より資料1に基づき説明

質問：十勝岳シオパーク認定について、以前の申請で認定されなかった経緯があるが、いつ認定になるのか。認定が遅れていけば、毎年お金がかかるのでは（大町住民会長）

回答：今のスケジュールでは来年度の再申請に向けて準備を進めている。前回認定見送りになった課題解決として、この4月より事務局を一体とし、今までより両町が協力連携して進めるような体制となった。認定審査に係る費用として、専門の事業者が認定書を作成する予算がついているが、それ以外はほとんどがジオパーク構想に係わる教育や観光といった活動費に費やされることになるため、認定されてもされなくても活動が続く限り、予算を確保して活動を展開していく（企画商工観光課長）

質問：2名いたジオパークの専門員がいなくなったが、今後の見通しは（島津住民会長）

回答：認定に向けて専門員の確保は非常に大きな問題である。昨年度まで配置されていた2名の専門員は、地域おこし協力隊の任期満了により、それぞれの道に歩むことになった。専門員の確保は必須であるため、人材を確保するための調整をはかっており、できるだけ早急に確保できるように努めていきたい（企画商工観光課長）

議題2 民生委員児童委員の任期満了に伴う次期委員候補者の推薦について（保健福祉課）

説明者：保健福祉課長より資料2に基づき説明

質疑なし

議題3 上富良野町高齢者実態調査の実施について（保健福祉課）

説明者：保健福祉課長より資料3に基づき説明

質問：住民会長には本日周知され、防災無線で4月下旬から周知することだが、民生児童委員にも事前に資料は届くと解釈して良いか（住吉住民会長）

回答：民生児童委員には4月24日の定例会においてご説明する。高齢者実態調査は毎年行っているが、日常生活についてのアンケートは新たな事務として発生するため、昨年12月から民生児童委員協議会でご審議いただき、準備を進めている。町民の皆さんには広報の掲載と4月下旬からの防災無線により、高齢者実態調査を実施

していくことを周知する（保健福祉課長）

議題4 住民会との協働作業による町道の環境美化活動について

（建設水道課）

説明者：建設水道課長より資料4に基づき説明

質 問：昨年ゴミ袋を提供していただいた。たくさんゴミが出た場合は役場に運搬をお願いするが、少ない場合は指定のゴミ袋に入れ替えて捨てている。何枚か指定のゴミ袋をいただければ、容易に捨てることできると思うが（東明住民会長）

回 答：透明で中がわかるようなゴミ袋を提供しており、少ない量でも取りに行くので提供しているゴミ袋でお願いしたい。指定のゴミ袋の提供は検討する。ゴミ袋の中にはいろいろなものが入っているため、役場で預かって対応している。役場に持ってきていただける場合は、建設水道課で受け取る（建設水道課長）

議題5 平成31年度住民会関係スポーツ事業について（教育振興課）

説明者：教育振興課長より資料5に基づき説明

質疑なし

議題6 平成31年度まちづくり事業について（町民生活課）

説明者：町民生活課長より資料6に基づき説明

質疑なし

議題7 平成31年度広報広聴事業について（町民生活課）

説明者：町民生活課長より資料7に基づき説明

質疑なし

【その他】

1 防災対策について（総務課）

説明者：総務課長より資料8に基づき説明。洪水ハザードマップの全戸配布は5月10日の広報の配布に合わせて行う

質 問：3月に防災士が集まった時の経過は（大町住民会長）

回 答：防災士の研修の一環として3月31日に集まっていたが、これからの活動等について話をした。役場主導で活動をしていただいているのが現在だが、自主的な活動もやっという機運があったため、協議していただいた。当初は防災士連絡協議会といった自主的な団体をつくってはどうかとの意見があったが、3月の段階では組織を作るより普段の活動の中で防災士同士が意見交換や連絡をする場を持つほうが良いとの意見が多かったため、現時

点では自主的な活動グループを立ち上げる状況にはない。組織の立ち上げは将来的な課題とし、自主的に集まって連絡や意見交換のできる場を今年度複数回持つことが話された（総務課長）

意見：防災士が自主的にとは、中心となる人を決めているのか。防災士の中でも非常に温度差があるため、任せるのではなく、行政が中心となって防災士の資質を一定の基準に持って行ってほしい（大町住民会長）

回答：連絡協議会をつくるという話は防災士のこれまでの活動の中で出てきたもので、町として連絡協議会をつくるので自主的にやってほしいということではない（総務課長）

数年前から防災士の連絡協議会のようなものをつくってはどうかという話があり、つくるのであれば町も応援するというので、町主催の研修会を年に最低1回行い、防災士に集まっていたいの中で投げかけてきた。町でつくるのではなく、防災士同士でお互いの情報交換をするためにも連絡協議会をつくらうという機運に基づいて、それを町は応援したいとこれまでもお話をしてきた。3月に集まったときには、形にこだわることなく、これまで同様にお互いに意見交換をする機会を年に最低1回はもつため、その中で協議をしていくこととなった。町が命令するような進め方は控えるべきと感じている（副町長）

質問：理解はできるが、50人いる防災士の中でだれがリーダーとなり、まとめていくのか（大町住民会長）

回答：集まる機会は町が声をかけて集まっていた。組織が必要となれば、そこでリーダーをだれにするのか話し合われるのでは。現時点でだれがリーダーとなって協議会を立ち上げるというところまで進んでいない（副町長）

意見：何かの機会に防災士がまとまる方向に早く向かっていくように町がリーダーとなってやるべきでは（大町住民会長）

回答：防災士の研修事業は引き続き、町が声をかけて行う。その中で組織の立ち上げについてもお声掛けをするが、あくまでも町が命令的に押し付けることは避けるべきと思っている（副町長）

意見：防災士に声をかけていただき、いろいろな機会に機運を盛り上げる体制をとってほしい（大町住民会長）

2 福祉バス等目的外運行について（総務課）

説明者：総務課長より資料9に基づき説明

質疑なし

3 知事選挙における投票状況について（総務課）

説明者：総務課長より資料 10 に基づき説明

意見：期日前投票が多く定着しつつあり、10 地区から 5 地区にしても全体の投票率は下がっていないため 5 地区でも良い。もっと期日前投票を啓発して割合を増やし、投票日当日の時間を短くしては。立会人の報酬や電気・燃料代のことを考えても、今すぐではなくても今後検討しては（住吉住会長）

回答：投票所は 7 時から 20 時が基本だが、地域の事情によっては変更できる。今回分析をしたところ、どの地区も午前中の一定の時間帯に集中し 6 割が終わり、正午から 14 時前後に残りが来て、18 時以降はかなり少ない人数となっている。どうしても遅くなる方もいるため、全部の地区の終了時間を早くすることは今後の検討課題と思っている（総務課長）

4 外来種「アメリカオニアザミ」の駆除について（町民生活課）

説明者：町民生活課長より資料 11 に基づき説明

質問：数年前から除草剤を使用し駆除しているが、繁殖力が強く地域として取り組まなければ駆除は難しい。里仁住会で除草剤を購入する話も出ている。町全体で取り組まなければ農作物の被害も出てくるため、町でも対策をお願いしたい。

また、野生動物の駆除に関して、最近アライグマが増えており農作物の被害が非常に大きい。トウモロコシやスイカなど被害が大きく、栽培をあきらめている農家もかなり出ているため、何か対策があればお願いしたい（里仁住会副会長）

回答：町としてアメリカオニアザミについて今回初めて取り上げるため、まずは住民の皆さんにこの植物のことを知っていただきたい。町が駆除することは難しいと思うが、今後の課題として検討する（町民生活課長）

アライグマが急増しており、町では平成 30 年度に 230 頭を駆除・捕獲した。駆除は上富良野町猟友会の方が罠を設置し、農業者の方のご協力で見回り等をして行っている。今年度も罠を 10～20 機購入し、皆さんのご協力をいただきながら進めていきたい（農業振興課長）

5 住民会関連の会議・イベント情報について（町民生活課）

説明者：町民生活課長より資料 12 に基づき説明

意見：里仁地区の新聞配達は美瑛町の新聞店のため上富良野のお知らせが入らず、広報紙の配達が遅れた場合、知らないうちに終わっている町の事業がある。防災無線での周知もいつも聞けるわけでは

なく、地域が孤立しているように感じる（里仁住民会副会長）
回 答：他の周知方法について検討する（町民生活課長）

(15 時 00 分)

○意見交換

住吉住民会長

ラベンダーハイツの特養は、昨年 11 月には 50 床のうち 41 床が入所しており、9 床が空いているとのことだった。住吉地区でも高齢化が進み、入所したい方が数名おり、町外の施設に入所している方もいるが、老々介護のため面会に行くのも困難であるようだ。4 月に介護士が 4 名増員され入所が可能になるとのことだったが、現在の状況は。

ラベンダーハイツ所長

昨年 11 月以降に 3 名が入所したが、退所した方もいたため、平成 30 年度末で 40 名の入所であり、今月末には 43 名になる予定である。4 月より介護士 3 名が新規採用され、早く業務に慣れるよう指導をしている。年間平均利用人数は 46 名を目標にしているため、年度末には満床に近い数字で対応できるようにしたい。

住吉住民会長

ラベンダーハイツで満床に向けて努力しているようだが、町外に入所している方の誘導は今後もやっていくのか。

ラベンダーハイツ所長

入所申し込みをされている方々に対し、年 2 回の入所判定委員会において入所基準に基づき判定し、町外の施設に入所している方も含めて入所順位に従ってご案内している。

住吉住民会長

入所申し込みがあり案内をしているのに、満床にならない理由は。

ラベンダーハイツ所長

50 床を満たすためにはまだ介護士が 2 名ほど足りない状況である。新規採用職員も入ったばかりで、今は指導期間である。段階的に入所を増やしていきながら満床を目標にしていきたい。目標として、平成 32 年度には年度当初から満床となるような体制づくりをしている。

住吉住民会長

西町の公営住宅は約 3 分の 1 が空いている状態である。昨年 9 月のブラックアウトの際に見回りをしたが、真っ暗のためどこに入所しているのかもわからなかった。防犯や防災、孤独死を防ぐためにも、住吉地区の公営住宅の存続や維持・管理について今後どのような方法を考えているのか。

町民生活課長

西町公住は空き室があるが、今後新たな入居者を迎える方向性にはなっていない。今入居されている部分の維持管理は実施していく。

住吉住民会長

今後どうしていくのか、考え方を早急に作らなければ空き家が増えた時のことを考えると非常に不安。早急に方向性を決めていただきたい。

町民生活課長

西町公住に限らず、公営住宅の老朽化が進んでいる。泉町南団地は10号棟までの計画だったが、1号棟から4号棟まで建設し、まだ満室にはなっていない。町内の住宅の状況をみるとアパートは約200棟で1,000室ほどあるが、330ほどが空き室になっている。一方で新たなアパートが建設されているところもあり、町全体の住宅と公営住宅の計画を全面的に見直すために、平成31年度の予算をつけた。この中で西町公住の今後の在り方も検討していきたい。

中町住民会長

先ほど大町住民会長から防災士の横のつながりが必要とあったが、早急に横のつながりの組織をつくり、防災士の資質をさらに高めてもらいたい。
(回答不要)

宮町住民会長

昨年上富良野神社の境内の草刈りを老人会と一緒にいき、草を入れる袋の支給と処分を役場がやってくれたようだ。今年も行おうと思ったが、前任の住民会長が今年は役場の支援はないとのことだった。なぜそのようになったのか。

建設水道課長

去年は町道のゴミ収集としてお願いしたところだったが、詳しく話を聞くと神社の中の草であったため、建設水道課では扱うことができないとお話をした。

宮町住民会長

上富良野神社は宮町にあるが町全体の神社であり、氏子も各住民会にいる。宗教が絡んでいるといわれればどうしようもないが、もう少し柔軟に考えてもらえないか。

副町長

神社の境内の中の清掃は政教分離の関係があり、町が応援することは難しいことはご理解いただけたと思う。柔軟なことも可能だと思うのでご相談をしながら、上手いやり方を考えていきたい。

○向山町長挨拶

住民会長におかれては熱心に意見交換いただき感謝申し上げます。色々と課題が山積しているが、皆さんと意見交換をさせていただく中で、一步一步前に進めていきたい。この意見交換が今後も充実したものになるよう、取り組んでいくためご協力をお願いしたい。

《閉会》

(15時25分)

町政懇談会終了後、同会場で15時40分から消防後援会総会、16時から住民会長連合会総会を開催。